



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーに輝きを

2014~2015 年度
第24巻18号
2014年11月06日

● クラブテーマ ●

ロータリーで未来の夢を実現しよう

■■ 本日のプログラム ■■

米山学友会卓話 ローター財団委員会

例会会場:ニューウェルサンプニア沼津 例会日:毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局 ●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ●川口恵美
E-mail ●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第1114 例会 会長挨拶◆◆

芹澤和子 会長

米山学友会とは奨学期間を終了された米山奨学生と現役奨学生で組織されている会です。それぞれのロータリークラブと連携しながら自主的に活動しています。2620地区の学友会は昨年2月に岩手県山田町にて東北被災地への復興支援植樹を奉仕として行っていると聞いております。

10月から11月になりますと日に日に夕暮れが早くなってきましたね。1年が始まったと思いましたが、もう11月です。明日は立冬です。立冬は現在広まっています定気法によりますと太陽黄経が225度のときで、11月7日ごろと言われております。期間としてはこの日から次の節気の小雪前日までです。立冬を迎えると、まだ暖かい日が続きますが何か冬が訪れる気配を感じます。

日が過ぎることが早いと感じると同じに人生も同じ足並みで日々を通過いたします。先日はアメリカ、オレゴン州在住のブリタニーメイナードさん29歳が末期脳腫瘍のため尊厳死されたとの報道が流れておりました。人生の選択肢はさまざまありますが、私の年齢になりますと毎日の健康に気を付けて、自分らしく真面目に生きる事、他人を大切に思うこと事をしていきますと、終末が幸せになるとかと感じます。ロータリーの仲間に出会い共に歩める事と、11月2日に行われた、4クラブ合同ゴルフコンペで、西クラブらしく参加者全員の団結力で団体優勝をいたしました事に感謝しながら会長挨拶とさせていただきます。

11月のプログラム

| | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1115回12:30 11月13日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 沼津警察署署長卓話 奉仕プロジェクト委員会 |
| 1116回18:30 11月20日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 会員卓話 芹澤 貞治君 夜間例会 |
| 1117回12:30 11月27日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 インシエーションスピーチ 鶴田 龍聖君 |

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 25名)

| 例会 | 会員数 | 出席数 | MU | 出席率 |
|--------|-----|-----|----|---------|
| 1114 回 | 24名 | 21名 | - | 87.50 % |
| 1112 回 | 24名 | 18名 | 2 | 83.33 % |

●ゲスト

1. 楊 悦様: 米山記念学友会

●欠席者(3名)

久松 但、伊縫文哉、成田みちよ

●他クラブへの出席者

穎川ゆう子 (10/23 東京杉並RC)

井上武雄 (11/4 沼津RC) 名古屋良輔 (11/5 eCLUB ONE)

重光 純、杉山真一 (11/2 IAC指導者講習会)

●スマイル報告 (本日のスマイル 10,000 円)

1. 名古屋良輔: 家族の誕生日のお祝いありがとうございます。

2. 名古屋良輔: ベトナム支援の旅、無事終わりました。クラブとして、ご援助いただき、ありがとうございます。

3. 芹澤和子、4. 鈴木良則: 米山記念学友会 楊 悦様、本日は、卓話、宜しくお願いします。

5. 杉山真一: 11月1日行われました、2011-12年度沼津4RC会長、幹事会の残金です。

6. 穎川ゆう子: 11月2日沼津4RC合同ゴルフコンペで西ロータリークラブが今年も優勝しました。ついでに、私も個人優勝でした。ありがとうございます。

7. 重光 純: 所用につき、早退させていただきます。

8. 本村文一: 所用につき、早退させていただきます。

| | | | |
|-------|------|-------|------|
| 会 長 | 芹澤和子 | 幹 事 | 植松 正 |
| 広報委員長 | 久松 但 | 編 集 者 | 上野祥行 |

1. 他クラブの例会変更等

ありません。

2. 報告・連絡事項

①次週は、例会終了後に理事会がありますので、理事の方は出席ならびに協議資料の提出をお願いします。

②11月のロータリーレートは、1ドル=106円です。

米山学友会卓話

米山記念学友会 楊悦様

こんにちは。楊悦(よう えつ)と申します。中国から日本に来て14年目になります。現在日本大学国際関係学部で中国語の講師をしております。2009年から、2620地区米山学友会の理事を務めております。私は母国の中国で電気工学を専攻し、卒業後、来日し、日本語学校で日本語を勉強し、大学院で比較言語や異文化コミュニケーションについて勉強し、2010年に博士後の学位を取得しました。米山奨学生になって2007年、2008年の二年間富士宮西クラブのお世話になっていました。本日は何を話したらいいか悩んだ末、「世界平和」「国際親善」のような大きな話題より、私が話したい「父の話」と「2620地区」学友会の活動を報告させていただきながら、身に染みるほど勉強になった奉仕や他人理解の話をさせていただきたいと思っております。

私が父を亡くしたのは20才になる直前で父は46才でした。父は小さい建築会社を営み、当時の中国で困らない生活をさせてもらいました。しかし、小さい時から、私の目に映る父は、母と私たち子供より、もっと「よそ」の人たちに親切でした。特に、金銭的な助けを求める人々は絶えずに我が家に訪れ、母は料理をし、おいしい料理を食べ、帰る際、父は決して忘れずに、母にお金を用意させ、残りのごちそうも持たせることがほとんどでした。母と私たち子供三人は別の部屋で質素な食事を取り、静かにしなければ、怒られます。子供の私は到底父のことを理解できなかった。でも助けてもらった人びとは満面の笑みでうちから帰っていく光景は脳に焼き付けたように鮮明に残っています。家の状況が一変したのは私が高校二年生のころでした。父が病気で倒れ、病院で精密検査をした結果、脳腫瘍で、余命1年だと宣告され、すべての財産をほとんど医療費に使ってしまいました。結局、父は4年半後になくなりました。それまで毎日のようにお客さんだった我が家は、最初のときはまだお見舞いのお客さんや電話などでにぎやかでしたが、だんだんさびしくなりました。私が大学二年の春に、父はなくなり、お葬式に来てくれる人はびっくりするほど少なかった。父はたくさんの人を助けていました。そのたくさん助けられた人びとはお葬式にさえ来ない。お葬式で涙を必死にこらえていた私は、涙が洪水のように溢れました。人に親切にしてもこのような結末です。父はかわいそう過ぎる、みんなに騙されたのだ！と私は大声で泣き崩れていました。

米山奨学生になってから、ロータリーアンの皆さんを見て、心の中のもっともやわらかいところが触られ、どこかで見たことがあるような気がしました。ロータリーアンの皆さんはご自分の事業と家庭を持ち、とても忙しい毎日を過ごしているはずですが、積極的に精一杯、例会や奉仕活動に参加しています。その一瞬、私はふと思いついた、亡くなった父の姿。私はとても不思議に思いました。なぜみんな

このようなことをするのでしょうか。どうして？その答えはある日の夜の例会の時に見つけました。それは中国国内の反日デモがメディアで日々大きくとりあげられている状況の中の夜の例会でした。何人かのロータリーアンはこのような恩知らずの国の学生たちになぜ我々が奨学金を支払わなければならぬのかという声が出たそうです。私は一瞬、父のお葬式の時の自分を思い出しました。そもそも、人々は何のために他の人を助け、相手に対して何を返してほしいのか、私はどのように答えたらいいのか、いくら考えてもわからなかったです。その時、私のカウンセラーをしてくださる方はみんなにただひたすら「別個だよ」「別個だよ」「一緒にするな」と言っていました。涙はもう一度洪水のように氾濫していました。そうでした。別個でした。人は人。私は私。どこかで見ていたような文句、その答えは私自身でした。私は心を持っています。助ける人もきっと助けられる人に心を持って自分を生きてほしい、それだけです。中国の古来のことわざ、一滴の水のような恩にも、涌き出る泉のような大きさでこれに報いるべし。困った時に助けてもらったことは、決して忘れずに恩返しすること、そして、受けた恩がどのような小さなものでも、涌き出る水のように、大きな思いを持ってこれに報いることです。私はその時、ずっと心の奥にしまっていた父はなぜ？ロータリーアンの皆さんはなぜ？が解けたように思いました。

奨学生になって、もっとも勉強になった言葉が、奉仕という言葉です。この言葉のもとで、2620地区学友会を設立し、今年で6年目を迎えました。毎年様々な活動に積極的に参加しております。富士山清掃や地域のイベントにも積極的に参加し、地域の住民とのコミュニケーション、異文化理解や他人への理解を心がけております。

2011年3月11日、東日本大震災が起き、多くのロータリーアンが心を痛め、手を差し伸べようと奔走しました。2620地区学友会も会長をはじめ、被災地を訪れていました。そしてある一枚の写真に出会いました。台所で発見された母親とその子供の遺体の写真です。母親の右手に菜箸をしっかりと持ったまま、子供をその胸に抱いたまま息絶えた母親と子どもの遺体が残っています。涙が止まらなかった私の目には日本人の母親と日本人の子供ではなく、たったひとりの母親が最期のときにもわが子を守るどの国でもどの人種でもある行動です。これこそ、真実ではないですか。国籍や人種を超えている真実です。私もすでに子供がおります。この子たちの体に中国人の血と日本人の血が混ざっています。中国人でもなく日本人でもない、たった一人の私の大切なことです。私たちはみんな同じたった一人の人間です。みんな同じ物を持っています。心です。

私が大学の教壇に立ち、学生にたくさん聞かれることがあります。私は学生たちにこう言いたいのです。見当もつかない世の中、他人を疑う前に、自分をもっと知りなさい。なぜなら、あなたが認める事実もあれば、私が認める事実もあります。どちらも事実で真実です。お互い認めないことになれば、喧嘩になります。私は実は日本と中国について言いたかったわけではなく、「人」について、あえて言う「自分自身」「私」について言いたかったのです。米山記念奨学生になり、たくさんロータリーアンに出会い、また学友会の活動を通して、これからの人生をどう生きるのかたくさん勉強になりました。ある先輩の話を引用してこの卓話を終わりたいと思っております。

他人を自分のように受け入れられるように感じられるのであれば、乗り越えられない紛争はなく、受け入れられない他人はいないということでした。

これからも学友会の活動を通し、たくさん勉強したいと思っております。引き続き、皆様のご指導、ご支援、よろしくお願い致します。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーに輝きを

2014～2015 年度
第24巻19号
2014年11月13日

● クラブテーマ ●
ロータリーで未来の夢を実現しよう

■■ 本日のプログラム ■■
沼津警察署署長卓話 奉仕プロジェクト委員会

例会場:ニューウェルサンプニア沼津 例会日:毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局 ●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ●川口恵美
E-mail ●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第1115 例会 会長挨拶◆◆

芹澤和子 会長

本日は沼津警察署長森田幸光様の卓話です。
よろしくお願いたします。
先日「子供たちの声は騒音なのか」という課題
での報道がありました。今は保育所の騒音トラブ
ルも起こっています。ある意識調査では騒音だと思
ったことのある人が半数の48.2%になっていま
す。この数字を皆様はどのように思いますか？

その中の声を少し取り上げました。

- 子供の声騒音と思う人が半数いる社会なら
少子化も当たり前です。
- 子供の無邪気にはしゃぎ笑う声まで騒音扱
いするなんて日本人の温かさはどこに行っ
てしまったのか？
- 迎えに来る親のマナーの悪さを、近くの人
が騒音と感じる事がある。
- 人の心理状態や人間関係によっては子供
の声を煩わしく感じる。
- 現在家族に子供がいない人には煩わしく
思う人もいます。
- 自分も小さな子供と共に暮した経験、自
分も子供の時があったことを覚えていますか？
- 病人がいる家庭では病人は騒音と感じ
る。

他に様々な意見がありました。

保育園側でも防音設備、近隣の人たちとの
付き合い方に努力をしているようです。

私の家は、ある高校のグラウンドの前です。
野球部が早朝は朝7時より、放課後は夜7時
過ぎまで練習を行い大変にぎやかです。運
動部は練習でも大声を上げていかないとチ
ーム全体の活気が落ち込みますので声
が小さいと指導者が大きな声で怒ります。

私の家庭も年子の3人の孫がおります。今
は大きくなりましたが、いつも家の中は子供
の声で賑やかでした。高校生のグラウンド
等の声を騒音と感じたこともなく過
ごしておりました。

この問題は大変難しく、子供が好きな、
私個人としては、何かさみしく感じました。

迎えに来る親、近隣の人たち、保育園側
が相手を思いやりながら、双方で話し合
い子供たちの将来に良い影響を残すよう
な保育園生活を送れるようお願いなが
ら会長挨拶といたします。

11月のプログラム

| | |
|-------------------------|---|
| 1116回18:30 11月20日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 会員卓話 芹澤 貞治君 夜間例会 |
| 1117回12:30 11月27日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 インシエーションスピーチ 鶴田 龍聖君 |

12月のプログラム

| | |
|-------------------------|---|
| 1118回12:30 12月04日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 クラブ協議会 下期活動計画 |
| 1119回12:30 12月11日(木) | ニューウェルサンプニア沼津 社会福祉法人 あしたか太陽の丘 理事長 澤田茂夫様 |
| 1120回18:30 12月20日(土) | ニューウェルサンプニア沼津 クリスマス家族 例会 管理運営委員会 夜間例会 |

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 25名)

| 例会 | 会員数 | 出席数 | MU | 出席率 |
|--------|-----|-----|----|---------|
| 1115 回 | 24名 | 20名 | - | 83.33 % |
| 1113 回 | 24名 | 15名 | 5 | 83.33 % |

●ゲスト

1. 沼津警察署署長：森田幸光様

●欠席者(4名)

額川ゆう子、井上武雄、成田みちよ、尾島康夫

●他クラブへの出席者

芹澤和子、重光 純 (11/6 IAC)
久松 但 (11/7 沼津RC、11/10 沼津柿田川RC)

●スマイル報告 (本日のスマイル 21,000 円)

1. 森田幸光様：御礼をスマイルで、いただきました。
2. 芹澤和子：3. 植松 正：沼津警察署署長
森田様、本日、卓話、よろしくお願いたします。
4. 鈴木良則：5. 久松 但：6. 伊縫文哉：家族の
誕生日のお祝いありがとうございます。

| | | | |
|-------|------|-------|------|
| 会 長 | 芹澤和子 | 幹 事 | 植松 正 |
| 広報委員長 | 久松 但 | 編 集 者 | 上野祥行 |

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

ありません。

2. 報告・連絡事項

- ①本日は、例会終了後に理事会がありますので、理事の方はよろしくお願います。
- ②11月16日地区大会に参加する方は、6時迄に沼津駅北口に集合願います。
- ③12月4日クラブ協議会における下期活動計画の原稿を、11月20日迄に幹事または事務局まで提出願います。

理 事 会 報 告

1, 報告事項

ありません。

2, 協議事項

- ①12月度プログラムの件
クラブ管理運営委員長 田村治義君 ⇒ 承認
- ②クリスマス例会の件
クラブ管理運営委員長 田村治義君
寄付先未定の為、奉仕プロジェクト委員会負担金以外 ⇒ 承認
- ③クリスマス例会における寄付の件
奉仕プロジェクト委員長 井上武雄君
井上委員長欠席の為、次回臨時理事会で協議 ⇒ 保留
- ④友人・知人（会員候補）同伴例会の実施の件
会員・維持増強委員長 本村文一君
クリスマス家族例会にあわせ友人知人例会を併催したい。
・会員維持増強委員会より、招待者に対し参加費の補助をする。（5名分を予定）⇒ 承認
- ⑤外部卓話謝礼の件（12月11日（木））の謝礼の件
・謝礼金を支給 する。⇒ 承認

外 部 卓 話

沼津警察署署長卓話 森田幸光様

暴力団情勢について

1. 暴力団の実態
 - (1)暴力団とは
ア、特殊な関係
親分・子分…盃で結ばれた擬制血縁関係
イ、組織の型
ピラミッド型の組織を維持…昭和30年頃から組織を強化
ウ、代紋と義理
代紋…組織の統制・団結のシンボル
義理掛け…勢力誇示と金儲けの手段
 - (2)暴力団の近代史
昭和20年代 30年代 40年代 50年代 60年代（バブル期）平成（バブル崩壊）現在
 - (3)暴力団がなくなる理由
ア、組織の資金源が枯渇化しない。
イ、暴力団等に金を出し利用する共生者の存在
2. 管内の暴力団勢力
 - (1)暴力団構成員等約80人を把握
 - (2)主な組織は、指定暴力団である稲川会大場一家、六代目山口組藤友会
3. 最近の暴力団の特徴的傾向
 - (1)組織実態の不透明化
 - (2)資金源獲得犯罪の多様化
 - (3)企業恐喝の手口
4. 警察の暴力団対策
「社会」対「暴力団」の構図
5. 静岡県暴力団排除条例
 - (1)条例の効果
ア、事業所による暴力団排除への取組みの促進
イ、積極的な暴力団との関係遮断の取組み等
 - (2)事業者等への勧告の発出
6. 企業等の基本対応5原則
 - (1)組織としての対応
 - (2)外部専門機関との連携
 - (3)取引を含めた一切の関係遮断
 - (4)有事における民事と刑事の法的対応
 - (5)裏取引や資金提供の禁止



----- 10月分出席一覧 -----

| | | | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------------|-----------|-----------------|------------|
| 颯川 (3, 2) | 久松 (4, 1) | 井上 (4, 1) | 伊縫 (2, 1) | 栗原 (⑤) | 宮島 (⑤) | 宮口 (⑤) |
| 本村 (3, 1) | 室伏 (3) | 名古 (3, 2) | 成田 (0, 3) | 尾島 (3) | 芹澤貞 (4) + 1 | 芹澤和(⑤) + 2 |
| 重光 (2, 3) | 下原 (4) | 杉山 (⑤) | 鈴木博 (4, 1) | 鈴木良 (4) | 田村 (⑤) | 土屋 (4) |
| 鶴田 (4) | 植松 (⑤) + 1 | 上野 (4, 1) | 渡邊 (休会) | | | |
| | | | 例会出席% 75 . 63 % | | 地区報告% 89 . 08 % | |

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーに輝きを

2014~2015 年度
第24巻20号
2014年11月20日

● クラブテーマ ●
ロータリーで未来の夢を実現しよう

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 芹澤貞治君

例会場:ニューウェルサンプニア沼津 例会日:毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局 ●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ●川口恵美
E-mail ●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第1116 例会 会長挨拶◆◆

芹澤和子 会長

本日は芹澤 貞治さんの会員卓話です。よろしくお願いたします。

さて、11月15日-16日に地区大会が浜松で行われました。参加者数約1,600名という大きな大会でした。岡本ガバナーは病気の体を押して参加してござりまして、重責を1年間無事に遂行するという事は本当に大変な事だと痛感いたしました。

大会2日目に我が西クラブは、国際ロータリー会長賞の表彰をうけました。

2620地区78クラブの中で、2クラブだけの表彰です。壇上に上がり西クラブの皆様の顔が見えました。笑顔に出会えてうれしく思いました。

この表彰を受けることは大変な事だと、勉強不足な私は後から聞きました。

会長賞の申請手続きの最初に記載されておりました寄与の目的に

- 1、会員増強の推進 (最低1名の純増)
- 2、ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実、(地域社会への奉仕、国際社会への奉仕活動)
- 3、ロータリ、ファミリーを通じたネットワークを強める様々な活動を実施する (ロータリーの家族交えた例会、社会奉仕)

この3項目の中に沢山の詳細項目があり全てではありませんが活動の実行と申請をし、承認されたクラブのみの表彰です。西クラブ会員の皆様は沢山の項目にもかかわらず活動していただいた事、大変な申請に挑戦していただいた、前年度会長と幹事に心より感謝いたします。1,600人の参加者の前でこの表彰が誇らしく、何も役に立っていない私が代表して表彰を受けたことにうれしくもあり、申し訳ない気持ちで一杯でした。

他クラブ全てに沼津西クラブの名前が伝わり沢山の人数からメンバー数を聞かれ、少人数のクラブでの素晴らしい活動を賞賛されました。

会長として残り7か月、活動目標に向かいこの素晴らしい表彰を受けたメンバーと共に歩みたいと思っております。以上会長挨拶と致します。

11月のプログラム

1117回12:30 ニューウェルサンプニア沼津 イニシエーションスピーチ
11月27日(木) 鶴田 龍聖君

12月のプログラム

1118回12:30 ニューウェルサンプニア沼津 クラブ協議会
12月04日(木) 下期活動計画

1119回12:30 ニューウェルサンプニア沼津 社会福祉法人
12月11日(木) あしたか太陽の丘 理事長 澤田茂夫様

1120回18:30 ニューウェルサンプニア沼津 クリスマス家族
12月20日(土) 例会 管理運営委員会 夜間例会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 25名)

| 例会 | 会員数 | 出席数 | MU | 出席率 |
|--------|-----|-----|----|---------|
| 1116 回 | 24名 | 17名 | - | 70.83 % |
| 1114 回 | 24名 | 21名 | 1 | 91.67 % |

●欠席者(7名)

久松 但、井上武雄、宮口雅仁、本村文一、成田みちよ、鈴木良則、土屋昌之

●他クラブへの出席者

芹澤和子、植松 正、鈴木博行、名古屋良輔、芹澤貞治、田村治義、土屋昌之、上野祥行、室伏博子(11/16地区大会)、久松 但(11/18 沼津北RC)

●スマイル報告 (本日のスマイル 7,350 円)

1. 芹澤和子、2. 植松 正：芹澤貞治さん、本日の卓話、よろしくお願いたします。
3. 上野祥行：11/13に献血に行ってきました。
4. 重光 純：遅刻してすみません。
5. 下原満知子：地区大会、急用の為、欠席致しました。
6. 地区大会二次会出席者：地区大会二次会残金。

| | | | |
|-------|------|-------|------|
| 会 長 | 芹澤和子 | 幹 事 | 植松 正 |
| 広報委員長 | 久松 但 | 編 集 者 | 上野祥行 |

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士ロータリークラブ

12月16日(火) クリスマス家族会
(あさくま 富士店)

12月23日(火) 法定休日

12月30日(火) 忘年例会

②長泉ロータリークラブ

12月17日(水) クリスマス家族例会(夜間例会)
※メーキャップ受付はありません。

③沼津ロータリークラブ

12月19日(金)→12月20日(土) 忘年家族会
※MU受付 11:30~12:30 沼津リバーサイド
ホテルにて

④沼津北ロータリークラブ

12月16日(火) 夜間例会 忘年家族会

12月23日(火) 祝日休業

12月30日(火) 裁量休業

2. 報告・連絡事項

①下期活動計画の原稿を、各委員長は本日迄に
幹事または事務局まで提出願います。

②12月20日(土) クリスマス例会の出欠席を
ご記入ください。

ロータリーについて

芹澤貞治君卓話

・ロータリーの誕生について

・1905年2月23日

木曜日 夜 ホール
・ハリス(弁護士)、シル
ベスター・シール(石炭商
)、ガスターバス・ロア(
鋳山技師)、ハイラム・
ショール(洋服生地商)
の4人が集まり、今
までの社交団体や
実業家の集まりと
はまったく違う、
新しいクラブをと
考えたのがロータ
リークラブ出発点
である。それは一

業種一人で親睦を深める会であり、お互いに自
分の職業を活かした取引をすることである。こ
の様にして発足したロータリークラブは、3年後



にはサンフランシスコに2番目のクラブが誕生、
会員数200名。その翌年1909年には、6クラブ約
510名と倍々に発展し、今日にいたっています
。1910年には16クラブとなり、国際(全国)ロー
タリークラブ連合会を組織するまでになりました
た。

日本のロータリークラブは、1920年(大正9年)
東京ロータリーが855番目として誕生しました。
米山梅吉会長・福島喜三沢幹事でありました。
会員24名でしたが、発足時の会員は、なだたる
財界人でしたので、ポール・ハリスの言うところの“
物質的相互扶助”の関心が薄かったと言われて
おり、当初は例会も月一回、たびたび流会し、
出席率も悪かった上規約に対しても認識がなか
ったところ、1923年の関東大震災に対しRIより
25000ドル 世界のクラブより64800ドル 合計
89800ドルの義援金が寄せられました。

この義援金で、東京・横浜の小学校188校へ備
品寄付、東京孤児院(ロータリーの家)の新築・
警察遺族への援助・産科病院再建等の事業を行
い、そしてこのロータリーの友情を契機にして
例会を毎週開催するよう改めたとされており
ます。

その後、大坂・名古屋・神戸・京都と日本の
ロータリークラブも発展し今日にいたっており
ます。現在34地区2285クラブ会員約87000名と
なっております。

・定款・細則について

RI定款とはロータリー組織の基礎となるもので
ある

定義・名称及び性格・目的・綱領・会員・理
事会・役員・国際大会・規程審議会・会費・財
団・会員の名称と徽章・細則・解釈の仕方及び
改正の条項を規定しております。そして各クラ
ブには、この定款に則って標準クラブ定款を使
用しなければならないとなっており、それには
定義・名称・クラブの所在地など、19条から
なっており、RI定款・クラブ定款とも規定審議
会の議決によらなければ改正できない。

但し、クラブ定款の名称と所在地は、例会出席
数の3分の2の賛成投票により、改正する事がで
きる。

細則とは、定款を補足する規定である。
理事役員選挙・理事会役員任期・会合・入
会金及び会費・採決の方法・委員会の任務・出
席の免除・財務・会員選挙の方法・決議・議事
の順序・改正などを例会の運営の基本が示され
ております。改正は出席者の3分の2以上の賛成
があれば改正できる。

クラブ運営規定は円滑なクラブ運営が行える事
、細かく規定したものであり、謝礼や登録料の
支給、又、慰労、慶弔、スマイルなど10条成り
立っており、改正は理事会の決定となっております。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーに輝きを

2014～2015 年度
第24巻21号
2014年11月27日

● クラブテーマ ●

ロータリーで未来の夢を実現しよう

■■ 本日のプログラム ■■

インシューションスピーチ 鶴田龍聖君

例会場:ニューウェルサンプピア沼津 例会日:毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局 ●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ●川口恵美
E-mail ●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第1117 例会 会長挨拶◆◆

芹澤和子 会長

本日は、鶴田 龍聖さんのインシューションスピーチです。よろしくお願ひいたします。

自分のインシューションスピーチを思い出そうとしましたが思い出せません。多分そのくらい緊張していました。

ロータリーの友の中で、ロータリーとは利己と利他の調和を計る人生哲学と言っている人がありました。つまり相手の立場を尊重し誠意をもって対応、売って喜び、買って喜ばれる関係を築くことにつながります。

そのような考え方の人たちが集まり、一時の短い時間で 楽しい食事、楽しい会話、役に立つ情報を自ら得る場所がこの例会です。

他に沢山の異業種団体がありロータリーのメンバーも個々にその団体で活躍をしています。他の異業種情報を例会時の会話の中に入れても役に立ちます。大きな意味でメンバーが他で活躍しています情報がすべて役に立つ会話となるのです。他の異業種団体に増してロータリー活動は奉仕の心で職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕をいたします。

12月20日はクリスマス家族例会です。仕事の幅を広げ、人間関係の幅を広げ、奉仕活動の幅を広げていくチャンスを作るために、当クラブの大変良い人の和の中に友人知人を招待してください。私の入会は2005年です。ロータリーのすべてをわかっているわけではありません。でも活動は大変意義のあるものだと分かるようになりました。新

しい会員は分らないことが多く、今は言われた仕事を、ただ一生懸命致しておりますが、自分自身のチャンスのつかみ方で仕事の幅と、人生の良い経験をいたします。そのような先輩がメンバーとして一緒にいるからです。

先日の静岡新聞に志田直前ガバナーの言葉が記事になりました。素晴らしい内容でした。

みなさん、仲間を増やしましょう。会員増強のお願いで会長挨拶を締めます。

12月のプログラム

| | |
|-------------------------|--|
| 1118回12:30 12月04日(木) | ニューウェルサンプピア沼津 クラブ協議会 下期活動計画 |
| 1119回12:30 12月11日(木) | ニューウェルサンプピア沼津 社会福祉法人 あしたか太陽の丘 理事長 澤田茂夫様 |
| 1120回18:30 12月20日(土) | ニューウェルサンプピア沼津 クリスマス家族 例会 管理運営委員会 夜間例会 |

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 25名)

| 例会 | 会員数 | 出席数 | MU | 出席率 |
|--------|-----|-----|----|---------|
| 1117 回 | 24名 | 21名 | - | 87.50 % |
| 1115 回 | 24名 | 20名 | 1 | 87.50 % |

●欠席者(3名)

尾島康夫、下原満知子、成田みちよ

| | | | |
|-------|------|-------|------|
| 会 長 | 芹澤和子 | 幹 事 | 植松 正 |
| 広報委員長 | 久松 但 | 編 集 者 | 上野祥行 |

●スマイル報告 (本日のスマイル 19,000 円)

1. 芹澤和子、2. 芹澤貞治：入会記念日のお祝いありがとうございます。
3. 植松 正：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 鶴田龍聖：本日、イニシエーションスピーチ、ありがとうございます。
5. 芹澤和子、6. 田村治義：鶴田さん、イニシエーションスピーチ、宜しく申し上げます。楽しみにしております。
7. 穎川ゆう子：個展では、多くの方に、お越しいただき、誠に、ありがとうございました。
8. 鈴木良則：11/30(日)は、根古屋の高尾山祭典です。ぜひ、お越し下さい。
9. 久松 但、10. 重光 純、11. 土屋昌之：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①富士宮西ロータリークラブ

12月19日(金) 家族忘年会の為、夜間例会

12月26日(金) 特別休会

2. 報告・連絡事項

- ①12/20日(土)クリスマス例会と2/22(日)IMの出欠席をご記入ください。

臨時理事会報告

協議事項

①クリスマス例会における寄付の件

- ・例年通り、会員全員より徴収
- ・静岡県宅老所グループホーム連合会を通じ沼津市近隣のグループホーム数か所に車椅子 7台を寄付。
- ・クリスマス例会に同連合会長と事務局の計 2名を招待し、当日目録を贈呈する。

イニシエーションスピーチ



『ロータリーへの誘いを受けて、
「感慨無量」なるものを』

鶴田 龍聖 君

人生は、深い縁の不思議な出会い、世尊の説かれた輪廻の不思議が、今の私を生かして行く、今日はイニシエーションスピーチと言う事で、貴重な時間を戴きまして、私、80年の歩みの中で「皆様方とは少し違った歩き方を、72年間やって参りました」九州の片田舎に生まれて、8歳の時に自発的に僧侶を志し出家し、御縁を頂き、三島に住む様になり50年になります。

「宇宙法界に充ちたまえる、大御佛の御慈光に被われ、神と、人と、我と、共に生かされる我等なり。今此の教えを戴き、健全なる体格と、公明なる魂を養い、勤労を喜び、奉仕を楽しみ、有為多能の人となり、父母、兄弟、夫婦より、広き世の人々の恩恵に報謝し光榮ある人生の福祉に貢献為さしめ給え」

大聖釈迦牟尼世尊は、総ての者に、光と喜びを与え、生命の儘に生かし生かされる事が、総ての人類が求めて止まぬ、平和の姿で有る事を、説き示し下さったので有ります。

然るに、どうで有りましようか、現代の世相は、国内的に見ても、世界的に見ても、闘争と対立の明け暮れであります。まるで、夫婦親子の家庭問題といい、自分本意の行動からなる、三悪道・地獄・餓鬼・畜生の苦悩であり、尊厳なる人間の本性を忘れた現代人の「愚行所感」と言えると思います。

世界の対立は「人類を巻き込んで仕舞う様な、大戦争に繋がらないとも限らない、不安な情勢を呈して居ります。

世尊が説かれた「輪廻」の教え、「善因～善果」良い行いをすれば、善い結果が報われる。此の道理は「三歳の童子此れを知ると雖も、百歳の老翁」何故此れを行えないのか。

「末法、今の世相を予見せられた、大聖釈迦牟尼世尊は、人類救済の要道を示されて、「但行礼拝」即ち人間礼拝「生きた人間が、生きた人間を拝む。人間礼拝」の道を示されたのであります。

正しく、ロータリーの精神であり、我が愛する、沼津西ロータリークラブは、会員お互いが力強く、声を掛け合い、拝み会い、釈迦世尊の説かれた、真実一乗の道の実践行。和平への行動で有る事の、クラブに深く合掌致します。